

産業水道常任委員会会議記録

日 時 令和元年8月22日(木曜日)

午前10時 1分 開議

場 所 水戸市議会 第4委員会室

午前10時41分 散会

付託事件

(1) 所管事務調査

1 本日の会議に付した事件

(1) 報告事項

① 水戸市市制施行130周年記念 第8回水戸まちなかフェスティバルについて (商工課)

(2) その他

2 出席委員(7名)

委員長	大津亮一君	副委員長	森正慶君
委員	田口文明君	委員	黒木勇君
委員	渡辺政明君	委員	栗原文隆君
委員	内藤丈男君		

3 欠席委員(なし)

4 委員外議員出席者(2名)

議員 田中真己君 議員 袴塚孝雄君

5 説明のため出席した者の職、氏名

副市長 田尻充君

産業経済部参事 川崎幹男君 産業経済部技監兼農政課長 深澤和広君

商工課長 小林一仁君 観光課長 堀江博之君

農業環境整備課長 小田博之君 農業技術センター所長 清水健司君

公設地方卸売市場長 武田和馬君

上下水道事業管理者 檜山隆雄君 上下水道局長 伊藤俊夫君

水道総務課長 梶山哲君 経理課長 栗原千尋君

料金課長 倉田佳則君 水道整備課長 杉山健一君

給水課長 梶山学君 浄水管理事務所所長 島孝夫君

農業委員会 吉川正浩君
事務局次長

6 事務局職員出席者

法制調査係長 富岡 淳君 書 記 矢吹友鏡君

午前10時 1分 開議

○大津委員長 おはようございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから産業水道委員会を開会いたします。

議事に先立ちまして、小田木産業経済部長、横山農業委員会事務局長が病気療養のため欠席との連絡がございましたので、御報告いたします。

それでは、これより議事に入ります。

初めに、報告事項の説明を行います。

なお、本日は定例会前の委員会ではございますが、議案に関する報告事項はございませんので御了承願います。

それでは、水戸市市制施行130周年記念 第8回水戸まちなかフェスティバルについて執行部より説明願います。

小林商工課長。

○小林商工課長 それでは、水戸市市制施行130周年記念 第8回水戸まちなかフェスティバルにつきまして、商工課提出の資料により御説明をさせていただきます。

水戸まちなかフェスティバルにつきましては、中心市街地のメインストリートである国道50号を舞台に、商店街団体など市民との協働によるイベントとして開催し、中心市街地の魅力創造やにぎわいの創出を通し、商業、観光の振興を図ることを目的に開催するものでございます。

4に移っていただきまして、日時といたしましては9月16日月曜日の祝日でございまして、午前10時から午後4時までの時間で実施をまいります。なお、交通規制といたしましては、イベント開催の前後1時間の準備、片づけを含めまして、午前9時から午後5時までを予定しております。荒天の場合を除き、基本的には雨天の場合でも開催する予定でございます。

5の会場につきましては、これまで同様、国道50号大工町交差点から水戸中央郵便局前交差点までを歩行者天国とするなど、中心市街地での開催でございまして、

6の事業内容でございまして、イベントのコンセプトを秋のストリート文化祭としておりまして、開催中止となってしまった昨年度と同様に今年度も「わ」をテーマとして、日本の和、みんなで輪になるなどのテーマにちなんだ出店を促進し、出店内容の質を高めていくとともに、休憩所等を各所に配置し、来場者がゆったりと過ごし、楽しむことのできるようなイベント環境の充実を目指してまいります。

(3)のイベントの内容といたしましては、メインストリートを中心に、アート、ワークショップ、エンターテインメント、グルメなどをテーマとして、82のさまざまなイベントを行ってまいります。このうち、本年度は11の新規イベントを予定しておりまして、新たな魅力、見どころを加え、出店内容の充実を図ってまいります。

7の広報につきましては、記載のとおり行事案内のチラシ、ポスターを初め、広報「みと」や市のホームページ、SNSの活用のほか、情報誌などのマスメディア、あるいは街頭キャンペーンによるPRなどにより積極的な周知を図ってまいります。

また、8のパーク&バスライドにつきましては、当日の交通渋滞緩和のため、桜山及び公設地方卸売市場

の駐車場から無料シャトルバスでイベント会場へ輸送するパークアンドバスライドを、引き続き今年度も実施をしております。

このほか、今回の取り組みの充実強化策についてでございますが、これまでも多くの学生ボランティアに参加していただいておりますが、さらなる連携といたしまして、各出展ブースにおける運営スタッフとしての参画を促進しております。

また、広報につきましては、これまでもさまざまな媒体により周知を図ってきたところでございますが、画像や動画等に特化した広告効果が高いとされるインスタグラムを新たに活用し、情報発信の充実を図っております。水戸まちなかフェスティバルのこれまでの記録を紹介するなど、イベントのさらなる魅力向上につなげてまいりたいと考えております。

さらに、パークアンドバスライドにつきましては、シャトルバスの運行時間を、これまで午後5時までとさせていただきますましたが、1時間延長しまして午後6時まで運行をしております。これによりまして、イベント終了後も地元商店街等へ立ち寄っていただき、まちなかの回遊を促進しております。

なお、参考といたしまして、本日は委員会資料のほかフェスティバルの周知チラシをお手元に配付させていただきますので、後ほど御参照をお願いいたします。

また、フェスティバルのガイドブックにつきましては、現在作成中でございますので、でき上がり次第委員の皆様へ配付させていただきたいと存じます。

後ほど、フェスティバルの御案内状を各委員にお送りいたしますので、当日はぜひ御来場いただきますよう、この場をおかりしてお願い申し上げます。

説明につきましては以上でございます。

○**大津委員長** 内容について何か御質問等がございましたら発言をお願いします。

黒木委員。

○**黒木委員** まず1点目で、この予算についてはどういう予算どりをされているのかお伺いしたいと思います。

○**大津委員長** 小林課長。

○**小林商工課長** ただいまの黒木委員からのまちなかフェスティバルに関する予算の御質問でございますが、今年度としましては800万円を予算としてつけております。

内訳といたしましては、主に会場の設営、運営経費、それから警備などで約600万円の支出を予定しております。そのほか広告費や消耗品費などがございます。

○**大津委員長** 黒木委員。

○**黒木委員** わかりました。

水戸黄門まつりのときもちょっとお話しさせてもらったんですが、市民の方への周知という部分、今回はインスタグラムも使っていくということで報告ありましたけれども、もう1カ月切った段階で市民の方々に周知して、9月16日にこういうフェスティバルがあるんですよということを徹底してほしいという思いがあります。せっかくこれだけ大規模に準備進めて、さまざまな企画がされていく中で、わからない、知らなかったという方がなるべく出ないように形で、一番はテレビとか新聞がいいのかなという気もするんですが、

やはりある程度の年齢になると、インスタグラムといっても若い方にはすごくインパクトがあって情報が伝わりますけれども、高齢の方になるとなかなか情報の入手手段というのが少なくなってきますので、早目にこういう周知をやっていただきたいなという思いがあります。その辺どういうお考えですか。

○大津委員長 小林課長。

○小林商工課長 ただいまの黒木委員からの市民等への周知に関する御質問でございますけれども、私どもといたしましても、ただいま委員から御意見ありましたように事前の周知というものが非常に大切だというふうに考えておまして、今年度、昨年度ともSNSを積極的に活用した周知を始めてまいりましたが、ラジオ等でもこのイベントに関しての周知を行っております。しかしながら、年齢層の部分で全体をカバーし切れていないというところも認識しておりますので、可能な限り早目の情報を発信、また、可能であればテレビ等への出演もして、一人でも多くの方に御来場いただきますよう積極的に検討してまいりたいと思っております。

○大津委員長 そのほかございませんか。

内藤委員。

○内藤委員 恐らく前にあったかもしれないけれども、ちょっと私は物覚えが悪いで忘れていると思う。このシャトルバスというのは、市場からと、あとどこからですか。1カ所ですか、何カ所ですか。

○大津委員長 小林課長。

○小林商工課長 ただいま内藤委員からのパークアンドバスライドの御質問でございますけれども、銀杏坂から市場、それから桜山から大工町というコースでパークアンドバスライドを実施してまいります。

○大津委員長 内藤委員。

○内藤委員 1日で何往復かやるのですか。

○大津委員長 小林課長。

○小林商工課長 ただいまの発着の本数に関する御質問でございますけれども、始発が午前10時からで、最終が去年は午後5時まででございましたけれども、今年度は午後6時まで1時間延長を予定しておりますが、約20分間隔で1日運行してまいります。

○内藤委員 結構です。

○大津委員長 ほかにございませんか。

渡辺委員。

○渡辺委員 質問ではないんです、要望みたいなものなんですけれども、この水戸まちなかフェスティバルが8回を迎えたと今お話がありまして、本当に担当の方たちは大変だなと、私も身近で見ているものですから、そう感じているところがございます。例えば観光にしても、ついこの間、水戸黄門まつりがあったら、次は水戸の萩まつりだ、商工は今度は水戸まちなかフェスティバルだということで、事業が次から次へと1年間ぐるぐる回っているわけですね。そうすると、どちらかというとその仕事をこなすということが大きな仕事になってしまって、例えば水戸の商店街の将来を考えたり、また観光行政などでこれからの展開、展望をどう考えるかというふうな、そういうクリエイティブな時間がちょっと少なくなっちゃうのかなというふうなことで、こういうこの事業というものは次につながるステップだというふうなお考えも持っていた

だいて取り組んでいただくといいのかなというふうに思っております。

それで、ついこの間、水戸黄門まつりがありました。リニューアルをしたということで、ふるさと神輿と水戸黄門提灯行列が新しく水戸黄門祭りの柱として打ち出されたわけでございますけれども、私なんかちょっと考える分には、こういうまちなかフェスティバルを活用しながら、例えばみこしを担いでいる周りは近づけなかったわけだから、今度は担ぎ棒を入れない、みこしだけの展示だったらみんなが近くで見られると。これはみたまが入っていないから触っても何しても別に問題はないというようなことなんで、そういうものとか、またあれだけちょうちん行列がニュースなんかにも取り上げられているので、もしできればそういうちょうちんなんか水戸の目印として、3大ちょうちんの一つとしてこういう場所を利用しながら魅力として発信していくのもやはり大事なのかなというふうに考えております。

また、下水道のふたなんか今、何だかスポットが当たっていますよね。だから、そういうものも展示してみたり、文化祭として位置づけしているんで、そういうこともやはり今後連携をしていくということも必要なのかなというふうに考えておりますので、自分たちだけの事業ということよりも、さらにそれに付加価値をつけたり、水戸市の行政推進を図る上でプラスになるもの、メリットになるものをどう相乗的に活用していくかということもあわせて考えていただければというふうなことを要望としてお話ししておくので、もし何か御意見があれば聞かせていただきますけれども、そういうふうなことをずっとお願いしておきたいと思っております。

○大津委員長 ただいま渡辺委員から御提案があったわけですが、答弁はどうしますか。

○渡辺委員 いや、今年じゃなくていいんだよ、次の年ね。

○大津委員長 小林課長。

○小林商工課長 ただいま渡辺委員から幅広い出展内容でさらに相乗効果を高めていってはどうかという御質問と存じますが、今年度のテーマを「わ」として設定しておりますして、各出展者の趣向を凝らしたイベントを促進していくということ为先ほどお伝えしたと思っておりますが、今回、水府提灯の展示PRをさせていただくということで予定をしておりますして、水戸黄門まつりのリニューアル後に、今後も引き続き本市の重要な伝統文化というものを継承するという取り組みも織りまぜていきたいというふうに考えております。よろしくお願いたします。

○大津委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 来年度からと思っております御提案だったんですけども、さっそくそういう同じ産業経済部の中で観光課との連携があったというようなことで、大変心強く思っております。第8回というような、ちょうど中だるみなんですね。私も毎回見に行っているんですけども、出店しているところは大体同じで、食べるものと、そういうものが多くて、においだけでももう腹がいっぱいになっちゃうぐらいのいろんなものが出ています。文化祭的な要素のものもたくさん出ているので、今度はそういうもののテーマをもう少しきちっと明確にしながら、水戸市民の輪を広げていくのか、業者さんの輪を広げるのか、その辺のところも踏まえて、しっかり受けとめて取り組んでいただきたいというふうに思っております。よろしくお願いたします。

○大津委員長 ほかにございますか。

ないようですので、次にその他に入ります。

委員より何かございましたら発言を願います。

内藤委員。

○内藤委員 この前もちょっと話したと思うんですけども、水戸黄門まつりは結構人が出ていたと思う。路地から路地も物すごい人が出ていたからね、売店も出ていたし。だから人の出に対しては大成功だったかなと思うんですよね。ただ、何ていうの、リニューアルしたということで、今まで踊りがメインだったよね。今度はちょうちん行列がメインだということで、新聞にも載ったけれども、私らは見られなかったんだけど、後ろから歩いていたら。一番先頭になって歩いた方は高いちょうちんをさおか何かにつけてみんなを持って歩いたり……

〔「高張提灯」と呼ぶ者あり〕

○内藤委員 高張提灯というの。それと、先頭の方は並んでにぎやかな前から撮った写真も見させてもらったけれども、本当にすごかった。ただね、5列、10列過ぎ、真ん中過ぎるともうただぞろぞろ歩いているだけで。それで持っているちょうちんは、小さいちょうちんだよね、500円のものというのはね。だから、下に下げて歩いていけば全然人混みで見えないわけだね。だから、今言ったように一番前の先頭歩いている方のお祭りのあれは物すごく格好いいんだけど、裏に行っちゃうと全然ただちょうちんをぶら下げて歩いているという感じで、リニューアルしてちょうちんのお祭りにしたとはいっても、なんかそのちょうちんが余り目立たなかったのかなと思うんです。何か考えてちょうちんがメインならちょうちんのメインのそのようなお祭りをできるように、ですから後ろの方もそういうちょうちんを持って歩いているところを目立つようにできればいいのかなと思うんですけども、なかなかこう下げちゃうと、人混みだからよく目立たなくなっちゃうんで、せっかく市民の方が500円で買って持って歩くけれどもね、それでただぶらぶら歩いているだけで目立たないというのも何かちょっとね。ちょっとおかしいかなと思ったんで、そういうちょうちんが目立つようにできたらいいのかなという気がしました。ですから、棒をつけて高くちょうちんを上げて歩くのかな、何か考えて工夫してちょうちんが目立つようにしたらいいのかなと思います。

人の出は確かに出たと思うんで、これを続けていく。また、そのちょうちんをメインにお祭りをやっていくんだとするのであれば、何かもう少し目立つ方法を、今年はまだ終わって、来年、再来年と続くわけですけども、何かそういうのを考えていってほしいなと思いますので、今日、答えはいいですから何か考えておいてください。

○内藤委員 ほかにございませんか。

黒木委員。

○黒木委員 水戸駅北口の件で、商工課が担当なんですかね、旧丸井の入っていましたビルが、今、改修工事をやっています、民間企業がこれから運営していくということで改修作業が目に見える形になってきました。また、北口の旧リヴィンの跡地の再開発に関しましても、これから進んでくるという話をうかがっております。水戸駅南口は大きな商業施設、業者さんが入ってくれましたけれども、北口の活性化という部分に関しましては、一番重要な時期かなというふうに感じております。水戸市では税の優遇制度等を設けながら商店、また事務所等の誘致を図っているというふうに承知しておりますけれども、この北口の考え方、取り組みというのは、これから非常に重要な時期にあるというふうに思いますが、お考えをまずお聞きしたい

と思います。

○**大津委員長** 小林商工課長。

○**小林商工課長** ただいまの黒木委員からの水戸駅北口の活性化に関する御質問でございますけれども、私どもといたしましても、水戸の玄関口として重要なエリアというふうに認識をしております。御意見ありましたようにマイムビルの改修が現在進められておまして、私どもで情報を把握している範囲で申しますと、8月中旬に建物全体の改装工事が終了する予定であるというふうに関き取りをいたしております。また、各テナント様が改装工事を行う予定になっておりますけれども、これが終了するのが10月いっぱいぐらいではないかと。そして11月のオープンということで、以前公式の発表があったスケジュールで現在も進んでいるということでございます。

私どもで用意しております各種制度につきまして、積極的な御活用を図っていただけるよう株式会社マリモ様とは定期的に情報交換をしております、マリモ様と各テナント様が契約後に私どもの制度の活用についての本格的な協議をスタートさせていく予定でございます、今後、各テナント様を紹介いただき、制度の活用についての議論を重ねていく予定でございます。

また、リヴィン跡地の再開発の部分につきましては、所管が都市計画部ということもございますので、私どもで状況としましては予定どおりに進めておりますが、商業施設等で今回の店舗事務所補助制度など、また企業誘致の補助制度などを活用していただけるように、具体化してきた際には積極的に協議を進めていきたいと考えております。

○**大津委員長** 黒木委員。

○**黒木委員** すみません、わかりました。

議会で報告があったかどうかはわからないんですけども、私ちょっと記憶ないんですが、当初マイムビルはマリモさんじゃなくて千葉県のほうの業者さんだったような記憶があるんですが、この辺の経緯というのは議会で報告ってあったのかどうか。私は茨城新聞を見て知ったんですが、この辺というのは商工課長に聞いてもわからないでしょうか。

○**大津委員長** 小林課長。

○**小林商工課長** ただいまの黒木委員からのマイムビルに関する再度の御質問でございますけれども、株式会社マリモの前に権利を取得したところが、委員会でも御報告差し上げましたけれども、株式会社やまきというところございまして、その後マリモのほうに権利を譲渡したということをおうかがっております。

○**大津委員長** 黒木委員。

○**黒木委員** 私は産業水道委員会についてこの間から来たもので、すみません、知りませんでした。

現在はマリモさんと情報交換しているということでもありますので、このリヴィンの跡地含めて、この部分に関しては絶対失敗できない、水戸市の顔、玄関口にありますので、しっかりとその辺は関係の各部署と連携をとりながら、都市計画部という話もありましたけれども、しっかりとその辺は進めていただきたいというふうに思います。この部分が縦割りの、これはあっちの課、これはこっちの部ということで分けずに、最後は産業経済部のほうでまちなかの活性化という部分はしっかりと念頭に置きながら、北口のにぎわい、また業者さん、事務所、商業施設等の方がしっかりとスムーズに入所できるような形で、また新たな今まで水

戸にはなかった業者さんがまた入ってこられるような、税の優遇措置もとっていますから、しっかりと取り組み進めさせていただきたいという、これは意見として言わせていただきます。

○**大津委員長** 渡辺委員。

○**渡辺委員** 今、黒木委員の関連で私の意見を述べておきたいんですけども、水戸駅北口の個性化とか差別化、そういうものを考えてくださいということで実は前からお話ししていたように、南口は商業施設が張りついていますよね。北口も同じような個性ではちょっと無理ですよということを、水戸の人口がふえない中で、商業的なパワーというのはもう限界に来ている。また、あの周辺の集合住宅に住んでいる方の年齢層とかまたその購買の心理などを見ると、個別の店で買うというようなことよりも車で大型商業施設へ行って買ってきちゃうと、そういう状況になっていますので、北口については私は個性化をさらに進捗させるべきだろうというようなことで、マイムビルのマリモさんも商業施設というよりも事務系の施設になってきますし、また、今リヴィンの跡がちょっと足踏み状態というのは、恐らくその集合住宅等の需要と供給のバランス等を市場調査しているのかなというふうになんてちょっと考えておりますので、ぜひ商工課としては、また周辺をサポートする観光課としては、しっかりその辺の状況を受けとめながらどうあるべきかという、水戸の玄関口で国道50号を上がってくる顔づくりなので、しっかりした顔をつくっていくという、そういう思想、また考え方で取り組んでいただきたい。

1つ聞きたいのは、リヴィンの裏の壁に何かこう絵が描いてありますよね。あれはどういういきさつでどうなったんですか。

○**大津委員長** 小林課長。

○**小林商工課長** ただいまの渡辺委員の御質問にお答えをいたします。

壁のペイントについてでございますけれども、水戸ど真ん中再生プロジェクト会議事業の一環としまして、民間主体で寄附を募り、水戸駅の顔づくりと申しますか、来た方へのインパクトというところでの事業を開始したものでございます。

○**大津委員長** 渡辺委員。

○**渡辺委員** 大変ありがたい話で、そういう民間のど真ん中プロジェクトをやっていたというふうなことで、感謝にたえないところなんですけれども、先ほど言った、私はあちらの個性とか、今後どういうまちにしていくかという、そういう思想に立って、例えばあの壁画も歴史的な景観を形成するような壁画にしたほうがいいんじゃないかという声もありますよと。ただ、意味がよくわからないという人もいますし、ただ書けばいいというもんじゃなくて、お出迎えするならばその顔の、そこに立ったときに、こっちはこういうまちなんだと、背景にはもうこれから二の丸隅やぐらとか土塁塀ができてくるわけですから、そういうものを踏まえた上で、例えば水戸市のほうでお願い事項として、そういうのがいいのかなというような声があったということをお伝えさせていただきます。

それと、もう一度確認しておきたいんですけども、これはこの件ではなくて、偕楽園の有料化、弘道館の入館料が200円から400円に、倍額になるというのは、いつから始まるんでしょうかね。

○**大津委員長** 堀江観光課長。

○**堀江観光課長** ただいまの渡辺委員の御質問にお答えいたします。

偕楽園の有料化でございますが、11月1日からの施行でございます。

○**渡辺委員** 弘道館は。

○**堀江観光課長** 弘道館もあわせて11月から料金が倍額になります。

○**大津委員長** 渡辺委員。

○**渡辺委員** 弘道館と偕楽園、これは一対ですよ。この施設は日本遺産認定も一対の整備ということで遺産に認定されたといういきさつがございます。そういう中で、県はこの有料化、管理運営しているというふうなことでこれしたんでしょうけれども、弘道館に関してだけ言いますと、この200円のアップのその要因、なぜ上げなくちゃならないのかという要因があるならば、ちょっとお聞かせ願いたいんです。

○**大津委員長** 堀江課長。

○**堀江観光課長** ただいまの渡辺委員の御質問にお答えいたします。

県からのお話ですと、偕楽園と弘道館は今、委員さんがおっしゃったように一対の施設であると。弘道館についても魅力向上策について周辺の環境整備とあわせて今後進めていきたいということで、入館料金を倍額にしたということです。

○**大津委員長** 渡辺委員。

○**渡辺委員** じゃあ、県は、弘道館、偕楽園は一対であるという認識はお持ちなんですね。いや、別にこの料金のことでなくて、例えば管理している土木部なりがそういう認識を持っていただかないと、ただ単なる土木部の発想で、トイレが汚いからその金を捻出するんだという考えでもし値上げしたんでは、これましく市民、県民を冒瀆していますよ。30年にもわたって古いトイレをそのままにしておいて、値上げによって直すんだなんていうことを言ったんでは、行政マンとして恥ずかしい。私はそういうふうになんかちょっと感じていたものですから、できればこういう話が出てくる前に市民の意見を聞いたり、県民の意向を調査したり、そういう手続が私は必要だと。ましてや、その管理をしている県もそうですけれども、水戸市も大事な歴史文化遺産として磨き輝かせている努力をしているわけですから、そういうところにしっかり事前に協議をしたり、また意見を聞いたりする必要があるのかなというふうには私は思っております。答弁はいいですけども、そういうものをしっかり受けとめて、県庁所在地の自治体の職員なんだと、大事な文化遺産、文化史跡を守っているんだという気概を持って、ただ単に仕事としてやっているというんじゃなくて、次の世代にしっかり残すんだという気概を持ってやっただいていてと思っていますので、県にも水戸市のそういう熱い思いを伝える、そういうことを常日ごろ努力をしていただきたいというようなことをお願いしておきます。

最後に、植物公園なんだけれども、リニューアルしていますよね、今年ね。その進捗状況だけちょっとお聞かせください、内容とね。

○**大津委員長** 清水農業技術センター所長。

○**清水農業技術センター所長** ただいま御質問いただきましたように整備にかかっているところでございますが、今の鑑賞大温室の周りの植物をここから移動しまして、鑑賞大温室の中の植物につきましては農業技術センターに別なバックヤードがございまして、そちらの温室に9月から移す予定でございます。したがって、9月1日から鑑賞大温室、それから熱帯果樹温室につきましては閉鎖をしまして、同時に入園料に

ついても半額にしていきたいということで御了解いただいているところでございます。

鑑賞大温室の実際の工事につきましては、来年1月から工事にかかりまして、その後、工事が終わりましたから移植したものを再度戻して、令和3年4月29日、ちょっと日にちはまだはっきりは申し上げられませんが、そのころにリニューアルオープンをさせていただきたいということで計画を進めております。

○大津委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 そうすると、これ大温室だけだっけ、直していたのは。あとほかに何かありませんでしたっけ、リニューアルする、工事をする案件はありませんでしたっけ。

○大津委員長 清水所長。

○清水農業技術センター所長 ただいまの御質問でございますが、その周辺の園路等についても同時に整備を進めてまいる予定でございます。

○渡辺委員 園路はいつなの。園路も令和3年度なのですか。

○清水農業技術センター所長 工事につきましては、鑑賞大温室の工事とあわせて随時進めております。

○大津委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 そうすると、今回の事業のトータル的な完成年度というのは令和3年度ということでいいんですか。令和3年の3月31日が工期ですか。

○大津委員長 清水所長。

○清水農業技術センター所長 ただいまの御質問で、答弁のほうですが、ちょっと説明足りなかったと思いますけれども、工事につきましては来年の1月から始まりまして約半年間ぐらいで終わります。あとは、植物の養生等を行いまして、令和3年の4月にリニューアルオープンをさせていただくという予定でございます。

○大津委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 今回大きな予算を使って、温室が手狭になったというふうなこともありますし、取り組んでいるということなので、ぜひ、あれをつくったときの設立の理念に基づいて、市民がもっともっと楽しんだり憩いの場として活用できるような、そういう付加価値をつけるような、これだけの投資するというようなものを踏まえ、ぜひお考えいただきたいというふうに思います。

以上です。

○大津委員長 ほかにございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○大津委員長 それでは、以上をもちまして、本日の産業水道委員会を散会いたします。

御苦労さまでした。

午前10時41分 散会